

Welcome to 五高 library The door to the books

令和6年度
文部科学大臣表彰
子供の読書活動優秀実践校

令和8年度
五島高校：図書委員会
9月1日作成
9月24日発行

図書委員作成
2-1 餌網代 祥子
(イラスト)
2-1 道脇 紗希
2-2 長澤 蓮人
2-2 道下 哲司

こんにちは！図書委員会です。
読書の秋が近づき、校庭を吹き抜ける風や色づき始めた木々から、
季節の変化を感じるようになりました。夏に出会った本やニュースから、
自分の暮らす地域や世界に目を向けてみませんか。
二学期も、図書館が学びとひと息つける時間を支える場所になりますように。

①知のインプット・アウトプット

問いの立て方
著者：宮野公樹
出版社：筑摩書房



「問い」が変わると、世界の見え方も変わる。
この本は、正解を早く出すためのハウツーで
はなく、「いい問いとは何か」をじっくり考え
させてくれる一冊です。授業や探究活動で
感じたモヤモヤを出発点に、自分だけのテー
マや将来を見つめ直したい人におすすめで
す。

ホンモノの文章力
著者：樋口裕一
出版社：集英社



人に伝わる文章には「型」がある。本書は、
悪い例と良い例を比較しながら、「ホンモノ
の文章」の書き方を具体的に教えてくれま
す。レポートや小論文、志望理由書を書く
ときにそのまま使えるコツが満載で、文章が
苦手な人ほど力になります。

②アスリートの書齋

VISION 夢を叶える逆算思考
著者：三笥薫
出版社：双葉社



サッカー日本代表・三笥薫選手が、「世界
の MITOMA」になるまでの道のりと、夢を
叶える考え方を書いた本です。ゴールから
逆算して努力を重ねる姿は、部活動や受験
にもそのまま応用できます。才能よりも準備
と継続を大事にする三笥選手の言葉は、
「今の自分」を変えたい高校生に響きます。

凱旋
著者：小田凱人
出版社：ぴあ



9歳で骨肉腫になり、サッカー選手の夢を
失った小田凱人。闘病中に会った車い
すテニスを新たな夢にし、わずか8年で世
界一になるまでの実話です。つらい出来事
を「不幸」だけで終わらせず、「自分の武
器」に変えていく姿に勇気をもらえます。進
路や部活動に悩む高校生に読んでほしい
一冊です。

③医療・看護のまなざし

病院で死ぬということ
著者：山崎章郎
出版社：文芸春秋



病院で人が死ぬとき、何が本当に大切な
かを若い医師が真剣に考えた記録です。末
期がん患者の姿や病院の現実を通して、
「人間らしい最期」とは何か、「自分の死を
自分で選ぶ」とはどういうことかを問いかけ
ます。生き方を見つめ直したくなる一冊で
す。

看護師 2.0
著者：青柳智和
出版社：幻冬舎メディアコンサルティング



医師不足や高齢化で、病院は今も人手が
足りません。この本は、そんな現場を救う
「これからの看護師像」を考える本です。
患者の状態を深く考える分析力と、チーム
を動かす実行力を持った看護師が、医療を
大きく変えていく可能性を教えてください。
看護師をめざしている人にぜひ読んでほし
い一冊です。

④特設コーナー

ミステリー作家 東野圭吾氏

東野圭吾氏は、緻密な謎解きと人の心を丁
寧に描く作品で、多くの読者を魅了してきた
作家です。
『白夜行』やガリレオシリーズなど、世代を
こえて親しまれる作品も数多くあります。
図書館では、その歩みと作品をあらためて
振り返る特設コーナーを設けました。
この機会に、東野圭吾氏の作品の世界にふ
れてみませんか。
ぜひ図書館へお越しください。



時事ナビ
気になるニュース、本で深掘り！

「豪華客船」を選手村代わりに！
日本一わかりやすい
地方創生の教科書
著者：鈴木信吾
出版社：東洋経済新報社



愛知・名古屋アジア大会で注目される大型
クルーズ船の活用は、限られた空間で宿泊
や移動、生活機能を支える発想として興味
深い。この本を読むと、地方は何もないの
ではなく、見方と伝え方しだいで資源が
価値になると気づかせてくれます。



月明かりの下で読みたい一冊



明るい昼間に読むのとは違って、夜の読書は少しだけ自分の心の声が聞こえやすくなります。物語の中の登場人物の悩みや迷いが、自分の考えごとと繋がることもあるかもしれません。疲れた日こそ、スマホを閉じて月を眺めながら一冊だけ読んでみてください。

52 ヘルツのクジラたち

著者：町田そのこ

出版社：中央公論新社



他のクジラには聞き取れない声で鳴く「52ヘルツのクジラ」。そのクジラのように、深い孤独を抱えた人々が、互いの「声なき声」に耳を澄ませ、救い合いながら生きる希望を見出していく物語です。胸を穿つような悲痛さのなかに灯る、切なくも確かな光。静かな月明かりの下で、ゆっくり物語に浸ってみてください。

僕が愛したすべての君へ

著者：乙野四方宇

出版社：早川書房



並行世界を行き来することが証明された世界。両親の離婚後、母親と暮らす高校生の高崎暦は、クラスメイトの瀧川和音から「自分は85個隣の世界から来ており、あちらでは恋人同士だった」と告げられる。異なる世界線を巡りながら、一つの世界で一途に愛を育んでいく軌跡を描いた切なくも温かいラブストーリー。

たゆたえども沈まず

著者：原田マハ

出版社：幻冬舎



舞台は19世紀末のパリ。孤独な画家ゴッホと日本人画商の出会いで運命は動きだす。「どんな荒波に揺られようが決して沈みはしない」という意味のタイトル通り、困難の中でも夢を追う彼らの姿に胸が熱くなります。読み終えたとき、きっとあなたは名画『星月夜』の前で涙するはず。月明かりの夜、遠い時代のパリを生き抜いた芸術家たちに思いを馳せてみませんか。

君を愛したひとりの僕へ

著者：乙野四方宇

出版社：早川書房



月明かりの下で静かにページをめくりたくなる第二弾。並行世界を舞台に、恋と選択の切なさややわらかく胸に広がり、大切な人を思う気持ちや、取り返せない決断の重みが静かに残ります。夜にゆっくり味わいたい作品です。

本を開ければ、 そこから始まる秋の物語

夏の名残が少しずつ薄れ、ページをめくるたびに、空の高さや風の匂い、虫の声が物語の中からも聞こえてくる季節になりました。

物語の世界を旅したり、じっくり考える本に出会ったり、本を開くたびに、新しい秋が始まります。図書館で、あなたの「今年の秋の一冊」を見つけてみませんか。



きつねのつき

著者：北野勇作

出版社：河出書房新社



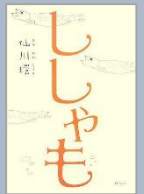
きつねと月をめぐる秋の気配に満ちた不思議な物語です。日常の中で主人公は、不思議な出来事やきつねにまつわる出来事に出会っていきます。少しだけ現実とずれた世界が心地よく広がり、見慣れた風景まで違って見えてくる物語です。本を開いた瞬間、静かで不思議な秋の物語が始まります。



ししやも

著者：仙川環

出版社：祥伝社



題名の意外さにまず目を引かれる一冊です。秋の食卓からそのまま本棚に紛れ込んだような親しみがあり、気づけば手に取ってしまいます。小さな町に埋もれていた過去が、静かに人々の心を揺らしていく物語です。医療ミステリーで知られる作者の、また違った魅力が味わえます。

今日の空が一番好き、 とまだ言えない僕は

著者：福德秀介

出版社：小学館



本を開けば、そこから始まる秋の物語。主人公である大学生の「僕」は、ある女性との出会いをきっかけに、少しずつ自分の世界を変えていきます。この本は、何気ない日常の中にある出会いや別れ、人を大切に思う気持ちを描いた物語です。登場人物の不器用さや悩みに共感でき、普段の何気ない時間も大切にしたい一冊です。

山月記(エコトバ)

著者：中島敦 ほか

出版社：文研出版



教科書で読むと難しく感じやすい『山月記』ですが、この本は現代風の絵とやさしい言葉で物語に入りやすい一冊です。李徴の苦しみや迷いも伝わりやすく、内容理解の助けになります。朝の読書はもちろん、授業の予習や復習にも役立つので、高校生にもおすすめです。

図書館統計のお知らせ

7.8月の貸出冊数は93冊です。
昨年度は142冊でした。
7.8月昼休みと放課後の
入館者数は491人/32日です。